〈第一回〉 新宿御苑で学ぼう! 江戸東京野菜講座

この講座は、東京にも伝統野菜があることを もっと多くの方に知っていただきたいとの願いから開催することにいたしました。 江戸東京野菜についてわかりやすく解説する講座となっております。 この機会にぜひご参加ください。

〈会場図〉

日 時 第1回:2015年5月23日(土)13:00~16:30

定員になり次第締切とさせていただきます

【会場】新宿御苑「インフォメーションセンター | 2階レクチャールーム(東京都新宿区内藤町11)

【講 師】大竹道茂

【受講料】3,500円 ※受講料は当日、受付にお支払いください。

【内 容】『江戸東京野菜には物語がある』 江戸東京野菜について、江戸東京野菜にまつわる物語などをとおして、 わかりやすく解説します。

《主催》特定非営利活動法人江戸東京野菜コンシェルジュ協会

一般財団法人国民公園協会新宿御苑

《共催》環境省自然環境局新宿御苑管理事務所

お問い合わせ・お申込みについては裏面をご覧ください。



江戸東京野菜にゆかりのある新宿御苑

東京で生産されている練馬ダイコン、金町コカブ、伝統小松菜、寺島ナス、 馬込三寸ニンジンなどの伝統野菜は、近年「江戸東京野菜」としてブランド化・普及が進められ、 注目を集めています。

江戸東京野菜のひとつ「内藤トウガラシ」や「内藤カボチャ」の発祥の地・新宿御苑は、明治時代に 官営農事試験場「内藤新宿試験場」を創設し、日本の近代農園芸において、先駆的な役割を果た した歴史があります。日本の農園芸の発祥の地である新宿御苑において、希少な日本固有の植物種、 日本の農業園の歴史や伝統文化への理解を深めていただければ幸いです。

《お問い合わせ・お申込み》

お問い合わせ・お申込み受付メールアドレス jimukyoku@edo831.tokyo

お申込みの際は、本文に以下の必要事項をご記入の上、送信してください。 【講座日(5/23) / 氏名 / フリガナ / 郵便番号 / 住所 / 電話番号 / メールアドレス 】 ※受付後、お申込み受付完了のメールをお送りいたします。受信設定をしている場合は、 上記アドレスが受信できるよう予め設定変更してください。 ※定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

A 八〇四~一八二九年)ごろには盛んに栽培されていた。現在も渓流沿いにワサビ田が点在し、都内で収穫さ、ワサビ田が点在し、ではないにワサビ田が点をでいる。





太くて短いニンジン。民大田区西馬込の篤農家

野菜写真撮影:矢郷 桃、「寺島ナス」のみ小金井市 「内藤トウガラシ」のみ福島秀史

制作・印刷:小城プロデュース



た。畑で太らせた根株を穴蔵に植えて、白いが始まり、北多摩一円は品質・生産量ともに 金町コカブ

